

校長室の窓から

兵庫県立三木高等学校長 前田 哲男

2018 No.2 2018.5.29

新年度もはや2ヶ月が過ぎようとしています。短い期間ではありますが、この期間に本校生徒の自発的な活動が、テレビや新聞等のマスコミで紹介される場面がいくつかありました。主には火災で焼失した三木駅の復興に向けての活動です。そのことについて、改めて紹介をしたいと思います。

三木高生が長年にわたり慣れ親しんだ神戸電鉄三木駅が火災により焼失いたしました。本当に突然の出来事でした。犠牲になられた方のご冥福を心よりお祈りいたします。本校の多数の生徒が毎日利用する駅でしたので、火災後の数日間、通学に大きな支障が出るのではないかと心配をしていましたが、関係者のご努力のおかげで、しばらくの間電車の本数が少なくなった程度ですみました。そして、通常の運行が再開された後、生徒達の中で、三木駅の復興のために、そこを利用する地元高校の生徒として何かできないか、と検討をしていたようです。そんな折りに、テレビの「おはよう朝日です」からの声かけがあり、協力して募金活動を行うこととなりました。

主な活動は、5月20日に開催する地域の祭りであるレトロチ2018において、募金活動を行うにあたり、チラシの配布をすることと、そしてそのイベントにおいて音楽部やブラスバンド部の生徒達が参加させていただくというものでした。募金の目標額を100万円と設定して、「おはよう朝日です」のスタッフの皆さんと協力して生徒たちも大変努力をしました。そして、レトロチ2018の当日、私も会場に出向いてびっくりしました。普段は人通りの少ない商店街ですが、ものすごい人ばかりで、募金をしていただくのに、なんと2時間待ちという状態となりました。集まった募金額は200万円以上となり、感動の一日となりました。

本校の生徒達に、自発的に活動できる素晴らしい機会を与えて下さったテレビ局をはじめ、地域の皆様にお礼を申し上げます。また、今後も地域の皆様と協力して、三木駅の復興に向けて学校としても生徒と共に活動していきたいと考えております。



レトロチ 2018 で演奏する吹奏楽部員たち



イベントで協力してくれた生徒達